



テーマ聖句 「御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。とがめ、戒め、励ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。」 テモテへの第二の手紙 4章 2節

しかしキリストは、来臨の日時をお示しにならなかった。主ご自身も再臨の日時を知らせることができないとはっきり弟子たちに言われた。もしこのことを自由に示すことがおできになったら、たえず期待して待つ態度を持ちつづけるように弟子たちに勧める必要はなかったであろう。主の来臨の日時を知っていると主張する人たちがいる。彼らは熱心に未来を描く。しかし主は彼らにそうした立場を取らないようにと警告された。人の子が再びおいでになる正確な日時は神の奥義である。 (『各時代の希望』第69章 下巻文庫版 128・129 ページ)

今月の言葉

先月に引き続き訪問の5段階の残りを書きます。

第三段階 接触

・出会う——「へりくだった心を持って、互いに人を自分よりすぐれた者としなさい。」(ピリピ 2:3)

相手を大切にすることから態度を示すこと

・魅力的な話し方——「いつも、塩で味付けられた、やさしい言葉を使いなさい。そうすれば、ひとりひとりに対してどう答えるべきか、わかるであろう。」(コロ 4:6)

＜親切なお言葉や同情のまなざし、感謝の表現は、かわきにあぐらへ一杯の冷たい水のようになる。一つの同情のお言葉、一つの親切な行為は、疲れた肩に重くのしかかっている重荷を持ち上げる。無私の親切から出るすべてのお言葉や行いは、失われた人類に対するキリストの愛の表現である。＞(クリスチャンの奉仕 P273)

・微笑み——「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたに望んでおられることです。」(エペソ 5:16-18)

＜微笑みを人に与えるならば、それはまた自分に返ってくる。愉快で、きげんのよい言葉を口にすれば、他人からもまた同じような言葉を話しかけられる＞(アドベンチスト・ホーム P490)

・聞き上手——「わたしの愛する兄弟たち、よく聞きまわいなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。」(ヤコブ 1:19)

第四段階 必要・確信

・充分な情報提供——「心の中でキリストを主とあがめなさい。あなたがたの抱いている希望について

説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい。」(1ペテロ 3:15)

・私自身の強い必要・確信を伝える——「わたしは自分の信じてきたかたを知っており、またそのかたは、わたしにゆだねられているものを、かの日に至るまで守って下さることができると、確信しているからである。」(1テモテ 1:12)

・知識は確信をもたらす——「永遠の命とは、唯一の、まことの神にいますあなたと、また、あなたがたがかわされたキリストを知ることであります。」(ヨハネ 17:13)

第五段階 決心・決定と行動(締めくくり)

・いつでも締めくくる準備をしておく——「今日この話を聞いてくださるすべての方が、私のようになってくださることを神に祈ります。」(使徒言行録 26:29)

・個人的な利益を強調する——「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。」(使徒 16:31)

「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」(使徒 2:38-39)

・愛の動機に訴える——「それでは、これらの事について、なんと官おうか。もし、神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵し得ようか。ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたち全ての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜らないことがあるか。だれが、神の選ばれた者たちを訴えるのか。神は彼らを義とされるのである。だれが、わたしたちを罪に定めるのか。…わたしたちの主キリスト・イエスにおける神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのである。」

文書伝道部 次長 池田義生

■お知らせ

■新トラクトと再販トラクト発売予定日のお知らせ

新トラクト『「復活」のちから』（稲田豊著）は、9月25日(月)に注文開始です。これは、『profile』というタイトルで以前出版されていたトラクトをリライトしたものです。また、再販トラクト『カラダのトリセツ～水編～』（健康部）は、10月16日(月)注文開始です。1種類の注文枚数の上限は1回800枚とさせていただきます。注文先はABCへお願いします。送料は自己負担です。どうぞご活用ください。

■2022年の『サインズ・オブ・ザ・タイムズ』交換のお知らせ

先月のお知らせの繰り返しになりますが、希望の宅配プロジェクトで受刑者の方々にサインズを届けておられたNPO法人マザーハウス理事長の五十嵐弘志さんが逮捕され、起訴された旨が全国紙に掲載されました。

これを踏まえ、文書伝道部としては、五十嵐さんの連載記事が掲載されている2022年1月～12月号のサインズのバックナンバーおよび希望の宅配のトラクトを今後使用しないことにいたしました。

2022年のサインズのバックナンバーをお持ちの方には、2021年のバックナンバーとの交換をさせていただきます。同封の「2022年のサインズバックナンバーについて」の資料をご確認ください。

■文書伝道者用公式 LINE からの活動報告について

文書伝道者用公式 LINE からオンライン活動報告をしてくださっている皆様にお願ひです。過去にさかのぼって報告なさった場合は、公式 LINE のメッセージで文書伝道部までご一報くださいますようお願いいたします。

また、集計ソフトの月の切り替わりのタイミングを過ぎると次の月に計上されるため、月末の報告書は該当する週の金曜日中にご提出をお願いいたします。毎週金曜日までにご入力いただいたものは、当該週の報告として計上されます。

■ユースラッシュが無事終了いたしました

千葉および横浜で行った計5週間のユースラッシュ合宿を、無事に終えることができました。皆様からのお祈りや献品を、心より感謝申し上げます。ユースラッシュの証集を作成中です。完成しましたらお送りいたします。

■『その「宗教」は本物か』販促キャンペーン特典対象者のお知らせ

8月末までの一般販促キャンペーン対象者はありませんでした。

〈お尋ね本〉

2013年福音社発行の『あなたの心を本当に変える4つの習慣』をお探しの方がおられます。もし在庫をお持ちで、お譲り頂ける方がおられましたら教団伝道局（045-921-1123）までご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

■あかし

坂本寛己さん（神戸教会）

訪問先で出会った80過ぎのお爺さんが、『愛に出会った』と『菜食レシピ』をもらっとくとおっしゃって、奥に入られました。ヤツタと思いましたが、「お金のありがたが解りません。後で払います」とおっしゃるので、サインズバックナンバーとトラクト「宗教に頼らない生き方」をお渡しして別れました。ちなみ彼はクリスチャンだということです。いつかまた訪問しようと思います。

清宮貴代子（新座集会所）

「わたしは道であり、真理であり、命である」とのみ言葉を朝いただき、3人の信徒の方からのお祈りのメッセージが届き、『葉のいらぬカラダのつくり方』が出ました。感謝します。

ユースラッシュの証

横浜合宿の参加者の証をお届けいたします。

アキノ・ローランド（三育学院教会）

ある大きなマンションで訪問時間が残り僅かの時に、一人のおばあさんと出会いました。その方は仏教徒で、普段は販売訪問をしてくる人を対応しないようにしている方でしたが、私たちが訪問した時は、対応してくれました。その方が言うには、私たちは他の訪問販売者と違ったらしく、私たちの人間性を見て対応してくださったそうです。そんなことは初めてで、ご自分でもびっくりされたそうです。最終的に

『明日の健康をつくる今日の習慣』と『穀菜食レシピ』を買っていただくことができました。この出来事を通して、神様は私たちを通して、そのおばあさんに福音を知らせようと、語りかけたのではないかと思います。訪問者を拒否し続けた人の心を開き、私たちアドベンチストを遣わし、神様の福音を知るきっかけをおばあさんに与えたのだと私は思いました。

たとえ面会がとても少なく、とても疲れていたとしても、忍耐強く訪問することによって、出会うべき人と出会うことができ、神様の働きを成すことが可能だということを学ぶことができました。

花田湧貴（立川教会）

訪問初日、「神様の素晴らしい御業を自分にも直接体験させてください」と祈って出かけました。訪問中、お寺を訪問してみようということになり、リーダーとペアの方と3人でそこに行きました。するとお坊さんが出てきて、お寺の中へ案内してくださいました。そして親切にお茶や和菓子を出してくださり、一緒にお話をしてくださいました。その会話の中で彼は「実は僕は昔キリスト教がどのようなものかを知りたくて、バプテスマを興味本位で受けたことがあるんだ」とおっしゃいました。私たちはとても驚きましたが、その流れでキリスト教の話や仏教の話で盛り上がり、1時間程話していました。帰らなければいけない時間が近づいてきた時、「どんな本があるの?」と本に興味を持ってくださり、持ってきた本を全て紹介することができました。すると「これで買えるだけいただくよ」と1万円札を持ってきてくださいました。全ての本の合計値段が1万円だったので、なんと持っていた全種類の本をお渡しすることができました。私は鳥肌が立つような思いでした。まさかお寺で持っていた本が全て売れるとは思っていませんでしたし、本当の神様を求めていた人がお坊さんの中にもいたとは予想していませんでした。まさにこれは神様にしかできない御業でした。ユースラッシュに参加して本当に良かったと思えた瞬間でした。これから続く訪問でもたくさん神様の御業を見ていきたいです。

村上奏詩郎（三育学院教会）

ある午前中に訪問した最後の家で、80代のお婆さんにお会いしました。話を聞いていくうちに、その方はクリスチャンであること、しかも一度は牧師を志したこともあるということがわかりました。そこで私もクリスチャンであること、また現在牧師を志していることを伝えて、これまでの神様の導きを分かち合い、最後はお祈りをすることもできました。それまで、その地域は本当にもう二度と来たくないと思うほど難しい場所だと思っていたのですが、そこにも本当に神様を知る人たちがいるのだと改めて知り、励まされました。私たちの働きは先の見えないものばかりです。時にはその状況に苦しくなることも多くあります。しかし、神様は私たちをどこでどう用いようかという計画をしっかりとっておられて、時に応じて励まし、力づけてくださり、こういった恵の一端を私たちにもみせてくださることは本当に大きな祝福だと思いました。その導きにこれからも身を委ねて進んで行きたいと思います。

■月間報告

聖書通信講座申し込み（7月） : 5 件 （2023 年累計 13 件）

最も販売数の多かった本 （7月）

- 第1位 : 『薬のいらないカラダのつくり方』 （16 冊）
- 第2位 : 『希望の羅針盤2～神の預言編～』 （11 冊）
- 第3位 : 『見えない者に目を注いで』 （6 冊）

■祈りのテーマ

- ※日々聖霊を求める祈りを通して個人的リバイバルが与えられますように
- ※一人ひとりが新型コロナウイルス等の感染症から守られて、良い働きができますように
- ※文書伝道者の皆様のお働きが神様の御心に従って拡大しますように
- ※文書伝道に献身する新しい志願者が与えられますように
- ※福音社の数少ない編集部員の健康が支えられ、出版が継続されますように